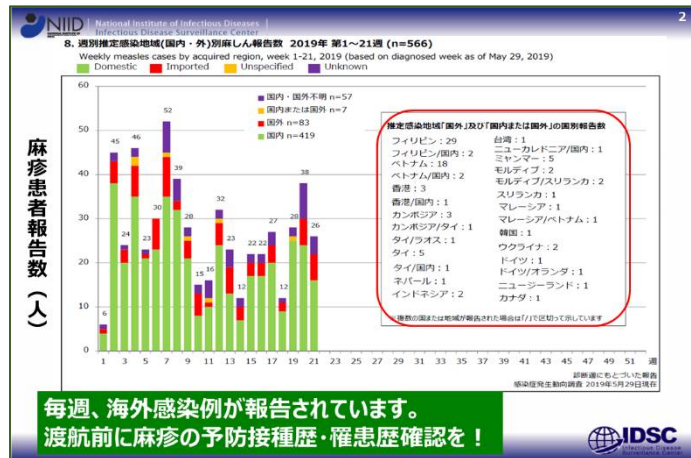


に持ち込まれては感受性者を中心に小規模な発生が続いています。

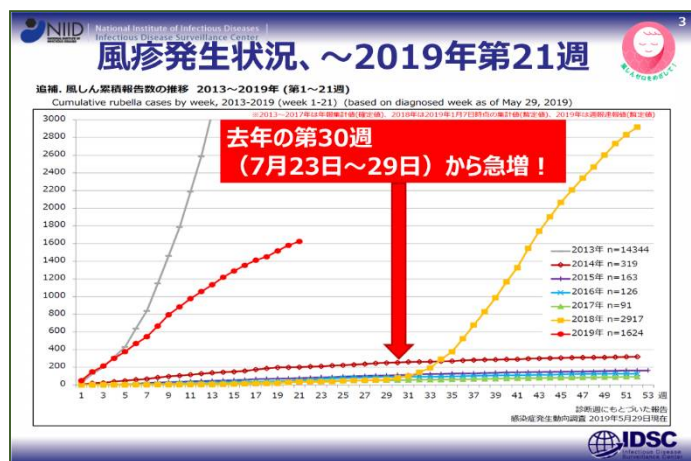
定期接種の効果として子ども達の麻疹が激減した効果の一方で、成人を中心に、ワクチンを1回しか接種していない人、あるいは受けたか不明な人に麻疹が発生しています。2019年は第21週5月29日現在で、566人の報告が寄せられています。その中でワクチン未接種、あるいは接種不明の人が65%を占めます。ワクチンを受けたことがあるといっても、22%の方は1回しか接種していません。2回接種した人でも稀に発症しますが、感染力は弱く症状も軽い修飾麻疹のことが多いです。今年は毎週海外感染例が報告されています。是非、渡航前に麻疹の予防接種歴・罹患歴を確認していただきたいと思ひます。定期接種は2回の接種をそれぞれ95%以上に高く維持する。これが麻疹排除を維持していくために最も重要です。未接種、接種歴不明者は今のうちに接種していただきたいと思ひます。



風疹について

風疹は2020年度までに排除を目標としています。しかし、昨年(2018年)夏から始まった風疹の流行は、特に首都圏を中心に広がり、近畿地方、九州地方でも集団発生がおこっています。今年も風疹の流行は抑制されず、第21週現在で、既に1,600人あまりの方が風疹を発症しています。年齢は94%が成人です。小児の発症が少ないのは定期接種の効果によるところと考えています。

子ども達はワクチンを2回接種しているため、たとえ周囲で流行があっても発症することは滅多にありません。一方、成人は接種が1回であったり、未接種だったり、接種歴不明であったりする方が多数を占めます。昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性は、これまで一度も風疹の定期接種の機会がありませんでした。そのため、現在の風疹の流行の中心は、この年齢層の成人男性が主な罹患層として報告されています。



そこで、厚生労働省は、今年から3年間にかけて、この年齢の成人男性に対して風疹の抗体検査を実施し、抗体価がHI法で不十分である(赤血球凝集抑制法: Hemagglutination Inhibition testで8以下)と認められた場合は、定期接種として原則MRワクチンを第5期の定期接種として実施することを決めました。特に今年度は、昭和47年4月2日から昭和54年4月1日生まれの方にはクーポン券が届きます。このクーポン券を持っていれば、全国どこでも風疹の抗体検査

と、抗体価が不十分であればワクチン接種が可能です。もちろん、昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 47 年 4 月 1 日生まれの男性も希望すればクーポン券をもらうことができます。対象になっている現在 40 歳から 57 歳の男性は風疹の抗体検査を受けて、低い場合はワクチンの接種をしていただきたいと思います。

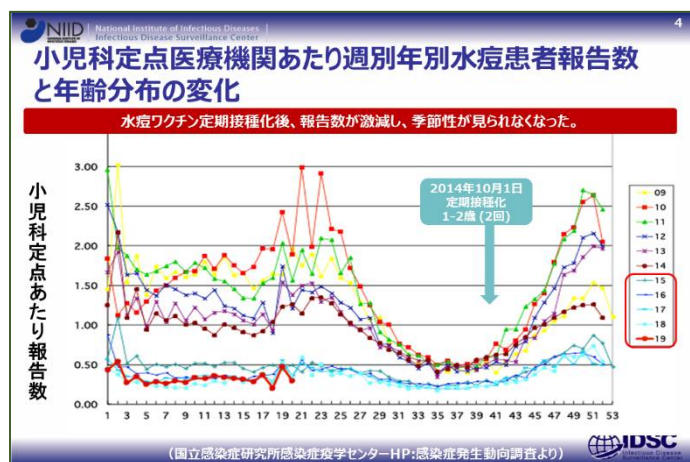
また、この年齢以外の男性やもちろん女性であっても風疹を含むワクチンを 1 歳以上で 2 回受けていないと思った場合は、現在風疹が流行していますので、罹る前に予防して欲しいと思います。

水痘について

水痘は水疱瘡とも呼ばれ、とても感染力の強い疾患です。全身に水疱ができることが特徴です。2014 年 10 月に水痘も小児の定期接種になりました。日本は定期接種開始当初から 2 回接種として導入されました。1~2 歳の子どもにワクチンを 2 回接種してもらいます。

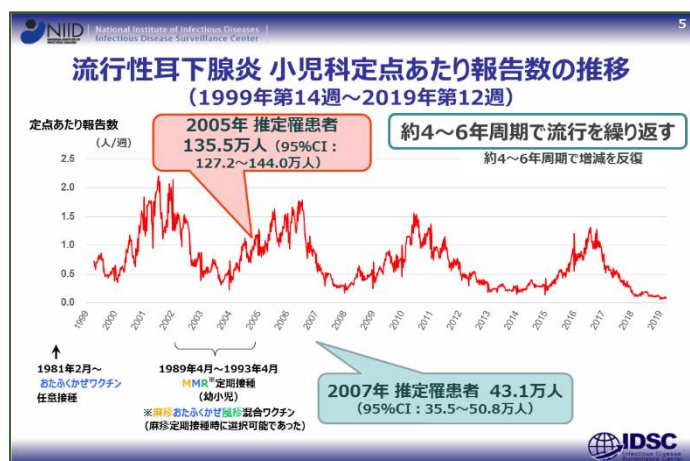
定期接種の効果は絶大で、小児の水痘患者数は激減しました。以前は夏に一旦減り冬に増加していた季節性が一切なくなり、入院が必要な重症例は現在全数報告となっていますが、特に定期接種対象年齢の子供たちの入院例は激減しています。

現在 5 歳以上の小児は水痘ワクチンの定期接種の機会がありませんでしたので、この年齢層の入院例にはあまり変化はありません。もし、未接種である、罹ったこともないという方は、任意接種になりますが、水痘ワクチン接種を検討して欲しいと思います。それは、5 歳以上大人になるまでの方の中で、今までたまたま水痘に罹っていなかった人は、水痘患者が激減している中で、罹るリスクが減ります。そして自身は定期接種の機会がないことで、水痘に罹らないまま大人になってしまうことが考えられます。大人になってからの水痘は極めて重症のため、水痘に罹ったことがない場合はワクチンを検討していただきたいと思います。



ムンプス (おたふくかぜ) について

ムンプスは残念ながらまだ小児の定期接種になっていません。そのため、4~6年に1回大きな流行を繰り返しています。特に流行規模が大きかった年は、年間 100 万人を越える患者数が推定されます。ムンプスに罹ると、1,000 人に 1 人くらいの頻度で難聴の合併が報告されています。ムンプス難聴と呼ばれま



す。ムンプス難聴は片側性であることが多いものの、一部の方は両側性難聴であり、この難聴は高度難聴で聴力の回復は困難です。そのため、おたふくかぜワクチンの定期接種化も望まれているところです。

以上、定期接種化された代表として、「麻疹」「風疹」「水痘」を、まだ定期接種化されていない代表として「ムンプス」を取り上げました。

罹る前の予防が大事です。母子健康手帳等の記録で接種歴の確認が可能です。備えあれば憂いなし。罹る前の予防をお願いします。

「小児科診療 UP-to-DATE」

<http://medical.radionikkei.jp/uptodate/>